

2020年1月14日

報道関係各位

DONNA

**21世紀型の持続可能なまちづくりを目指すグループと飛騨高山を代表する家具メーカー飛騨産業による、地域とつながるホテル「cup of tea ensemble」  
2021年1月15日（金）飛騨高山・高山陣屋前にグランドオープン**



21世紀型の持続可能なまちづくりを推進するプロジェクトチームのDONNA(本拠地：岐阜県高山市、メンバー：中村 匠郎・早川 和彦・中村 篤史、以下、DONNA)は、1月15日（金）に岐阜県高山市の観光名所である高山陣屋前に8部屋限定のちいさなホテル「cup of tea ensemble」を正式開業いたします。

**本リリースの概要**

1. 8部屋の少数限定ホテルが岐阜県高山市陣屋前にオープン
  1. ホテルの名称は cup of tea ensemble
  2. 家族・グループがゆっくり寛げる8部屋限定の小さなホテル
2. Uターンを含む地元出身者によるまちづくりグループと地場産業とのアンサンブル
  1. 持続可能なまちづくりの実現を目指すDONNAが企画を担当
  2. パートナーは創業100周年を迎えた家具メーカーの飛騨産業株式会社
3. 「あるものをいかす」がコンセプト
  1. 豊富な森林資源（あるもの）の可能性を確かな加工技術で表現

**1. 8部屋の少数限定ホテルが岐阜県高山市陣屋前にオープン**

cup of tea ensemble（以下、本施設）はJR高山駅から徒歩12分、観光名所である高山陣屋前に位置し、古い町並み等の主要観光地にもアクセスしやすい場所に位置します。

ホテル名の cup of tea ensemble は、日本人が一杯のお茶に込めるゲストをもてなす気持ち、ゲストにとっての cup of tea（自分の好み）になって欲しいとの思いと、ホテルに関わる多くの方々がアンサンブルを奏でて欲しいとの思いから ensemble と名付けました。

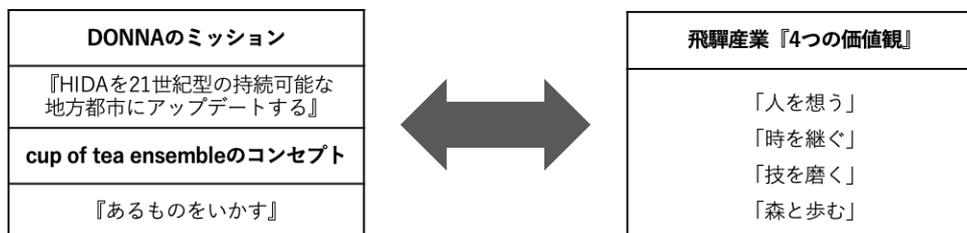
本施設は8部屋限定のちいさなホテルで、全てのお部屋が4人部屋または6人部屋となっており、国内外問わず家族・グループでのご旅行でも一緒に寛げる空間をご用意しています。

## 2. Uターン含む地元出身者によるまちづくり会社と地場産業とのアンサンブル

本施設の企画を担当したDONNAは、高山市出身でUターン含む30代の3名から成る持続可能なまちづくりを目指すプロジェクトチームです。「HIDAを21世紀型の持続可能な地方都市にアップデートする」をミッションに掲げ、事業領域は特定せず、岐阜県飛騨地域で持続可能な地方都市のあり方を提案し、実現することを目指します。

DONNAとして初めてのプロジェクトである本施設は、2020年8月に創業100周年を迎えた飛騨高山を代表する家具メーカーの飛騨産業株式会社（以下、飛騨産業）をパートナーとして迎えます。この度高山陣屋前に新しくホテルを開設するにあたって、内装の建材や客室内の家具・寝具を提供頂きました。

今回のコラボレーションはcup of tea ensembleのコンセプト『あるものをいかす』が、飛騨産業が創業100周年を機に制定した4つの価値観『人を想う、時を継ぐ、技を磨く、森と歩む』と親和性が高いものであり、また、同じ飛騨地域の事業者としてDONNAの目指す「21世紀型の持続可能なまちづくり」にも深く共感頂いたことから共同プロジェクトとして推進して来たものです。



### ◀ 飛騨産業株式会社 常務取締役 岡田明子 氏コメント ▶

今回はDONNAの皆さまと共に山林に入り、製材現場での打合せを行い、目の前の丸太の山をどう生かすかを考える（終わってみれば）大変楽しいプロジェクトとなりました。

飛騨は森林率9割以上を誇る土地です。輸入木材に頼るのではなく地元の森林資源を活用したいという志を同じくする仲間とプロセスを共有し、空間を実現できたことを大変嬉しく思います。コロナ禍で人や物の移動制限を経験した今、「あるものをいかす」という発想は重要なキーワードになるのではないでしょうか。飛騨の匠の技がプロダクトとして具体化した、まちの未来を見据える想いを、多くの方にご体感いただければ幸いです。

## 3. 「あるものをいかす」がコンセプト

本施設は「あるものをいかす」をコンセプトに、飛騨地域の木材資源が持つ豊かな可能性を飛騨産業が100年の歴史を通じて培ってきた加工技術を用いて表現しています。

DONNAによって再解釈された「飛騨高山らしさ」と飛騨産業が持つ高度な木の加工技術との融合によって引出された木を用いた多様な空間表現を存分にお楽しみいただけます。

### 「あるものをいかす」詳細

cup of tea ensemble の家具・建具・寝具のほとんどは飛騨地域で採られた間伐材/家具として利用可能な岐阜県産材を利用しています。

「あるものをいかす」をコンセプトに、地域資源の活用可能性を4つの切り口から提案し、飛騨産業の確かな加工技術をもって空間表現しています。

## 杉材

日本の林業問題を語るうえで杉材の活用は避けては通れない問題です。

本施設では、間伐された杉材を活用する上で制約となる小径・短尺の特性を、不規則な隙間がデザインのアクセントとなっている建具・ベッドとして活用しました。

ランダムに空けられた隙間によって、室内の明かりが通りにこぼれ、室内の温もりや団欒を感じさせる一方で、室内からは屋外の天気や時間、四季の移ろいなどを感ずることができます。

部屋にある要塞のような構造体は、二段ベッドになっており、建物の外装同様に、隙間を空けて積まれた杉材が、独特の質感と存在感を放っています。



## 間伐材

豊かな森の恵みを後世に繋げるためには適切な間伐作業が必要です。

本施設では積極的に飛騨地域の間伐材を利用していますが、材選定にあたって利用する材/樹種をこちらが選ぶのではなく、必要に応じて間伐された材をどう価値転換させるかを考えました。

施設内に合計5本設けられたそれぞれ樹種が異なる枝照明は、枝そのものの姿・形を活

かしてデザインされ、飛驒産業の職人が手作業で溝を切り、LED を埋め込んだもの。コンクリートや金属などの無機質な空間にも、どこか有機的な柔らかさと温もりを感じさせてくれます。

1 階ラウンジに配されたメインテーブルは脚をしっかりとデザインすることで、材の形状に囚われず受けることを可能としています。天板は飛驒産業と DONNA のプロジェクトメンバーが間伐作業に同行した際に採れた朴の木を利用し、木肌表面のカーブをテーブル側面の耳として活かしています。



### 端材

1 本の丸太から家具として利用される材は約 25%程です。飛驒産業上宝工場にて製材現場を訪れた際、乾燥ボイラーの燃料として積まれた端材を見て勿体ないと感じたと同時に、その整然と積まれた姿を美しいと感じました。端材を円筒状に束ねたコーヒーテーブルはプロジェクトメンバーがワークショップを通じて 1 本 1 本束ねて製作したものです。



## 中古アイテム

飛驒産業の家具には長く愛されるものづくりが貫かれており、10年間の製品保証がついています。それでも長年使用される中で傷んだ箇所は、ベテラン技術者による修理サービスが提供されています。

1階多目的スペースに配された8脚のダイニングチェアのうち4脚は、かつて飛驒産業で販売していた「マッキンレー」シリーズの旧モデルを、DONNAメンバーがリサイクルショップやネットオークションで調達。必要に応じて修理を行い、再生されました。もう4脚は「マッキンレー」をベースに、現代風にリファインした後継モデルで、現在も販売されている「NEW MCKINLEY」シリーズとし、新旧いずれも岐阜県山県市で生産された柿渋で塗装され、経年変化を楽しむことができます。新旧モデルで椅子の高さなども微妙に変わっており、見た目や座り心地の比較も、滞在中にお楽しみ頂けます。



## cup of tea ensemble 計画概要

名称	cup of tea ensemble (カップオブティーアンサンブル)
所在地	〒506-0012 岐阜県高山市八軒町一丁目 36 番地 (JR 高山駅より徒歩 12 分、観光名所「高山陣屋」前、 「古い町並み」まで徒歩 2 分)
部屋数	8 部屋 4 人部屋 (プレミアム) × 2 4 人部屋 (スタンダード) × 4 6 人部屋 × 2
最大収容人数	36 名
企画	飛驒産業株式会社、DONNA
設計	株式会社 Kraft Architects
施工	株式会社田中工務店
クリエイティブ	早川和彦デザイン事務所
写真 (*1)	西川公朗

運営

cup of tea

\*1 : p.1, p.3(右上)(左下)(右下) ,p.4(左中)(右中)(右下),p5(右)

**【本件に関するお問い合わせ先】**

DONNA : 中村 匠郎 (ナカムラ タクロウ)

MAIL : info@cupoftea-takayama.net

**DONNA 概要**

名称	DONNA (ダナ)
メンバー (共同代表)	中村匠郎 早川和彦 中村篤史
チーム紹介	「HIDA を 21 世紀型の持続可能な地方都市へアップデートする」をミッションに地元出身の 3 名が設立したプロジェクトチームです。事業領域は限定せず、岐阜県飛騨地域を持続可能な地方都市にするため、多岐にわたる事業を展開します。

**DONNA メンバー プロフィール**

中村匠郎 (ナカムラ タクロウ)



1984 年高山市生まれ。2007 年米国ゲティスバーグ大学卒業後、日本オラクル、野村総合研究所 APAC にてアジア全域での製造業向け基幹システムの導入に従事。2014 年よりデロイトトーマツコンサルティングにて主に組織再編支援のプロジェクトに参画。2017 年に高山市へ U ターンし、家業である銭湯ゆうとぴあ稲荷湯を運営する傍、cup of tea を開業。銭湯と宿泊業を通じた持続可能なまちづくり活動に取り組む。

<https://cupoftea-takayama.net/>

<https://sento-guesthouse-local.net/>

## 早川和彦（ハヤカワ カズヒコ）



1984 年高山市生まれ。2007 年アートセンターカレッジオブデザイン（LA）に交換留学。2008 年多摩美術大学プロダクトデザイン学科を卒業後、セイコーウォッチ株式会社に勤務。

2014 年早川和彦デザイン事務所を設立。多摩美術大学 Pacific Rim Project 非常勤講師。Bicycle Street Design Competition Aoyama 最優秀賞、神戸ビエンナーレ国際玩具展・奨励賞、木のデザイン展・入選、Heineken open design exploration in milano salone・日本代表選出など。

<http://kazuhikohayakawa.com/>

## 中村篤史（ナカムラ アツシ）



1985 年高山市生まれ。2010 年千葉工業大学大学院修了後、株式会社古市徹雄都市建築研究所に勤務。担当者として従事した宮畑遺跡史跡公園体験学習施設では World Architecture Festival 2017 Finalist に選出される他、German Design Award 2017 特別賞をはじめ多くの賞を受賞。2016 年 Kraft Architects 設立。現在、株式会社 Kraft Architects 代表取締役、千葉工業大学非常勤講師。JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2018 入賞、日本建築設計学会 Architects of the Year 2019 選出、SKY DESIGN AWARD 2020 short list、ARCHITECTURE MASTERPRIZE 2020 佳作受賞など。

## 飛驒産業株式会社概要

社名	飛驒産業株式会社
代表者	代表取締役社長 岡田 賛三
資本金	1 億円
所在地	〒506-8686 岐阜県高山市漆垣内町 3180
電話	0577-32-1001（代表）

従業員	男子 322 名 女子 127 名 合計 449 名 (2020 年 10 月 1 日現在)
事業内容	家具インテリア用品の製造販売・自然エネルギーによる発電事業 林業・製材業
創業	大正 9 年(1920 年)8 月
会社方針	伝統の心と技術を大切に受け継ぎ 顧客志向の物づくりを追求する 本物家具メーカーを目指す
ウェブサイト	<a href="https://kitutuki.co.jp/">https://kitutuki.co.jp/</a>
その他	ISO 及び FSC® COC 認証を取得しています

